



水をたずねて三千里～世界の水道施設～



東京都水道局 藤田 滯
(令和6年度抄録委員会委員)

1 「水」とおして世界を見てみると

皆さん海外に行かれた際に「水」を意識する場面はどんな時でしょうか？

水道水が飲めるのか、はたまた海や川などの壮大な風景に感動するといったところでしょうか。ちょっと目をこらしてみると、移動中や観光スポットにも「水」を感じられる場所は意外と多いんです。今回はそんな世界の「水」スポットをいくつかご紹介します。

2 すべての「水」道はローマに通ず？

かのローマ帝国の偉業の一つとして、上水道の整備があげられます。帝国内の主要都市に水道が建設され、今日でも多くの場所でその遺跡が残っています。



【トルコ】 ヴァレンス水道橋

車内から撮影したため全貌が見えませんが、全長約900mもあります。4世紀に完成し、オスマン帝国時代まで長きに渡り使われました。現在は幹線道路をまたぐように建っており、橋脚の間を多くの車が行き交っています。



【エジプト】 水道橋

ふと車内から外を眺めている時に発見しました。現存するものは、ローマ帝国時代に建設されたものをベースに再建されたものだそうです。ローマ帝国の領土の広さを感じるとともに、いつの時代も「水」が重要な社会基盤であることを改めて実感しました。

3 街中の「水」スポット

海外で給水機を使うことは少ないかもしれませんが、国ごとの水事情が垣間見えます。



【トルコ・イスタンブール空港】

温水と冷水それぞれありました。(飲み物が高いので空のマイボトルがあればよかったと後悔…。)



【インド・デリー市内】

マーケット内にあるとは思いませんでしたが、現地の人が見つけている姿を見かけました。



【エジプト・カイロ市内】

街角に給水タンクが設置されていました。(ちなみに荷台の黄色いものはデーツで、エジプトは世界最大の生産国です。)